

志賀原子力発電所1号機 低圧タービン動翼取付部のひびの確認について

平成25年5月17日
北陸電力株式会社

定期検査中の志賀原子力発電所1号機において、低圧タービン動翼¹取付部にひびが確認されましたので、お知らせします。

志賀原子力発電所1号機は、他社の原子力発電所において低圧タービン動翼取付部にひび等が確認されたことを踏まえ、現在実施中の第13回定期検査（平成23年10月8日開始）にて、自主的に蒸気タービン動翼取付部の追加点検を行うこととしました。

（2月1日お知らせ済）

動翼を取り付けた状態で実施した超音波探傷検査²にて有意な指示波形が確認された箇所について、動翼を取り外し、昨日（5月16日）より磁粉探傷検査³を実施したところ、同日、低圧タービン(A)の動翼取付部にひび（最大長さ約14mm）を確認しました。

引き続き、残りの箇所の点検を実施いたします。磁粉探傷検査は1ヶ月程度を要する見込みであり、その結果については、終了した時点でお知らせします。

本事象は、石川県、志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に従い、当該自治体へ連絡しています。

以上

添付資料：蒸気タービン動翼取付部のひびの状況

1 動翼

タービンに入ってきた蒸気エネルギーを回転力に変換する羽根であり、タービン車軸に固定され、回転する。

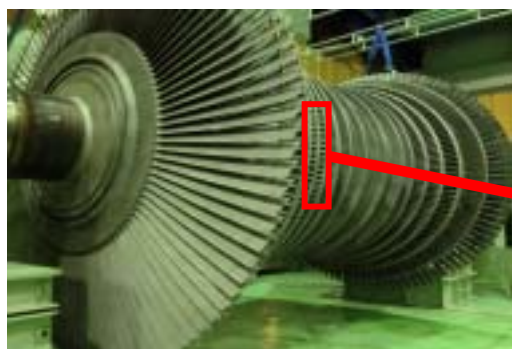
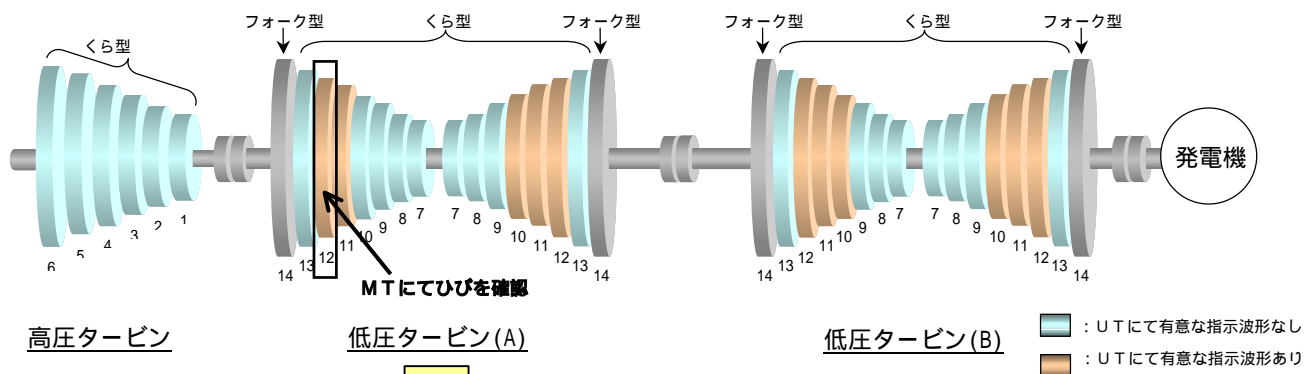
2 超音波探傷検査(UT)

非破壊検査の一種で、検査対象物に超音波を入射したときの超音波の反射波形により、対象物の内部を調査する検査。

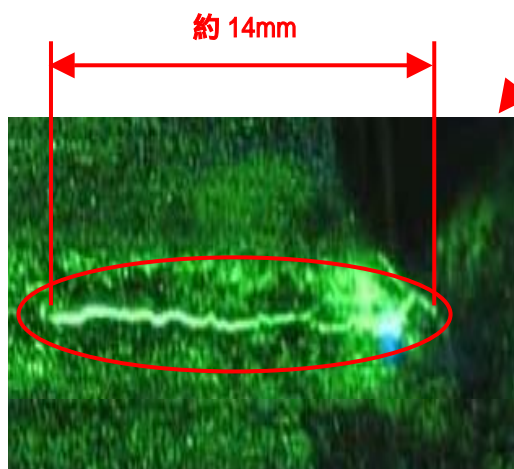
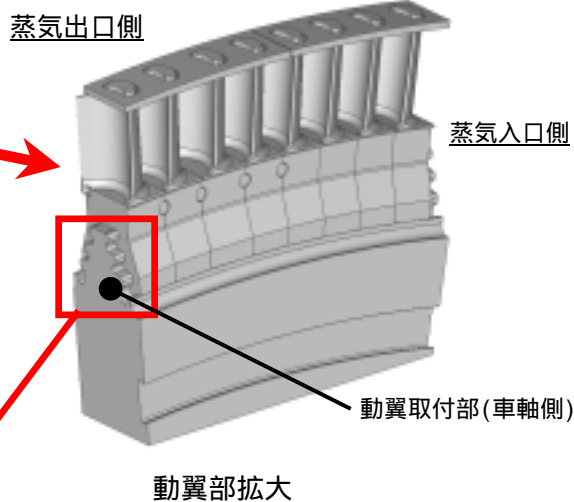
3 磁粉探傷検査(MT)

非破壊検査の一種で、検査対象物に磁界を作用させたときの磁粉模様により、対象物表面（表面近傍の内部を含む）を調査する検査。

蒸気タービン動翼取付部のひびの状況



低圧タービン(A)



磁粉探傷検査によるひびの状況(最大長さ箇所)

蒸気タービン動翼取付部6,917箇所 について、超音波探傷検査 (UT) を実施。
 低圧タービン(A)の高圧タービン側第12段動翼取付部で、UTにより有意な指示波形が確認された4箇所について、磁粉探傷検査 (MT) を実施。
 MTの結果、**当該4箇所にひびを確認。**
 (ひびの長さは、最大で約14mm)
 1箇所：動翼1枚分の範囲